事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0146
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　川端　啓嗣
所属　1601　産業観光部商工労働政策課　記入者　寺西　朋宏
事務事業番号　00301　計量事務等推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011　経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	026　商工業の振興				
取組の方向性	002　中小企業・小規模企業者の活性化				
事務事業	013　計量事務等推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	計量法、ガス事業法、電気用品安全法、家庭用品品質表示法				
事業概要	（事業概要） 計量法の目的である適正な商取引や証明の実施による消費者利益の保護や経済活動の適正化に向け、計量器の定期検査及び立入検査を主体とした事務を実施している。同様に家庭用品品質表示法、電気用品安全法、ガス事業法にかかる立入検査等についても実施し、消費者保護と啓発に努めている。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 計量器の複雑化や販売形態の多様化が進む中、計量の正確性や信頼性の向上が求められているが、公共施設でも有効期限切れが発見されるなど、計量法の趣旨や内容が十分に理解されていない。 （見直しや改善等の経過） 本市の指定定期検査機関として、一般社団法人滋賀県計量協会を指定し、定期検査業務を委託している。また、公共施設が有する水道・ガスメーターの適切な設置についても計画的に検査を実施している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	取引・証明に計量器を使用している事業者及び電気・ガス用品並びに家庭用品品質表示法に基づく商品を販売している事業者
目的（何のために）	消費者利益の保護と経済活動の適正化を図るため
手段（どのようなやり方で）	計量器の定期検査や立入検査（随時）、電気・ガス用品並びに家庭用品の立入検査及び啓発活動を実施
成果（どのような状態にするのか）	適正計量の実施により適合商品が販売されるようにするとともに計量法の普及啓発を推進する

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	9,699	9,592	11,274	10,181	11,274	10,181	11,274
事業費	1,517	864	2,546	1,453	2,546	1,453	2,546
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	6	7	7	7	7	7
一般財源	1,517	858	2,539	1,446	2,539	1,446	2,539
人件費計	8,182	8,728	8,728	8,728	8,728	8,728	8,728
事務・技術（人）	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.87	1.82	1.82	1.82	1.82	1.82	1.82
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0146
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
事務事業番号　00301　計量事務等推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-51-00-01-00	計量事務等推進事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)立入検査店舗数	件	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		162.00	163.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)定期検査受検率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		100.00	98.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)立入検査適正率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		96.10	98.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)定期検査合格率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		99.60	97.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	特定市移行（H13.4）により市が実施しなければならない。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	事業者への周知、指導、新規事業者の把握を行っている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	定期検査は委託し、立入検査も計画的に実施している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	法令に基づく重要な事業であり、消費者保護に寄与する。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	適切な立入検査の実施や対象となる事業所及び計量器の把握、計量法の普及啓発の取組を充実していくため、引き続き職員の育成に取り組んでいく必要がある。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	適正な立入検査の実施、対象事業所及び計量器の適切な把握、計量法の周知啓発に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00301　計量事務等推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)立入検査店舗数	件	200.00 162.00	200.00 163.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00	200.00 0.00
	指標説明	大型店舗、ガソリンスタンド、プロパン販売店、質量計使用事業者、公共施設						
(活動)定期検査受検率	%	100.00 100.00	100.00 98.60	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	検査受検台数／検査対象台数						
(成果)立入検査適正率	%	100.00 96.10	100.00 98.60	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	適正件数／立入検査件数						
(成果)定期検査合格率	%	100.00 99.60	100.00 97.20	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	検査合格台数／検査受検台数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0147
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　川端　啓嗣
所属　1601　産業観光部商工労働政策課　記入者　杉本　裕介
事務事業番号　00713　産学官ネットワーク事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011　経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	026　商工業の振興				
取組の方向性	003　多様な主体と連携した起業・創業支援				
事務事業	002　産学官ネットワーク事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等	大津市企業立地促進条例				
事業概要	（事業概要） 地域内企業の事業高度化と産業集積を図るため、大学や支援機関等の知的資源が集積する優位性を最大限に活かした産学官連携により、重点４分野（高度モノづくり、環境、医療・健康福祉、ＩＴ）に主眼を置きながら、幅広い分野の事業者に対して、地域ビジネス支援室の支援、産業化支援コーディネーターの派遣、モノづくり人材育成事業、インキュベーション施設賃借料補助、女性・若者起業家の経営スクール事業等を実施している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 政府の経済活性化施策により、中小企業・小規模企業・ベンチャー企業が国の補助金等を活用して新規事業や事業の高度化に取り組む機会が増えてきている。また、事業承継や女性・若者活躍に関する取組についても充実が図られている。 （見直しや改善等の経過） 産業化支援コーディネーターに加え、平成２６年度に地域ビジネス支援室を新設し、中小企業・小規模企業に対する支援を強化するとともに、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画の認定を受けた。 令和５年度には地域ビジネス支援室のコーディネーターを１名増員し、支援体制を強化した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	中小企業・小規模企業及びベンチャー企業や女性・若者起業家（今後、起業を予定している女性・若者を含む）
目的(何のために)	大学や支援機関等の知的資源が集積する優位性を活かし、産学官連携による中小企業・小規模企業の事業高度化と産業集積、女性・若者起業家の発掘から育成を図るため
手段(どのようなやり方で)	地域ビジネス支援室の相談支援及び産業化支援コーディネーター派遣、モノづくり人材育成事業、インキュベーション施設賃借料補助、女性・若者起業家の経営スクール事業等の実施
成果(どのような状態にするのか)	産学官連携による産業集積のための支援基盤となるネットワークを形成し、中小企業・小規模企業に対する事業高度化や共同研究等の支援、ベンチャー企業や女性・若者起業家の育成と市内への定着を促進する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,537	17,974	18,623	19,460	19,460	19,460	19,460
事業費	5,751	3,746	4,475	5,312	5,312	5,312	5,312
国庫支出金	753	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	700	211	200	400	400	400	400
一般財源	4,298	3,535	4,275	4,912	4,912	4,912	4,912
人件費計	12,786	14,228	14,148	14,148	14,148	14,148	14,148
事務・技術（人）	0.27	0.31	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	2.67	2.67	2.67	2.67	2.67	2.67	2.67
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0147
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
事務事業番号　00713　産学官ネットワーク事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-61-00-15-00	産学官ネットワーク推進事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)地域ビジネス支援室訪問・来訪相談回数（新）	回	0.00	0.00	580.00	580.00	580.00	580.00	580.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)女性・若者起業家経営スクール申込者数（新）	人	0.00	0.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)インキュベーション施設賃借料補助事業者数	社	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00	14.00
		6.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)大学との共同研究件数	件	5.00	5.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		2.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	連携を図り、実施できている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	現状維持または一部増加となっている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各項目とも必要な事業者に対して効率的に実施している。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	数値目標に対しては、概ね貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	支援体制を強化した地域ビジネス支援室や産業化支援コーディネーターによる事業高度化をはじめとした市内事業者への経営支援や起業・創業支援においては、専門的人材の的確な助言により事業者の意欲を引き出し、更なるブラッシュアップができるよう取り組んでいく。産学官連携については、大学インキュベーション施設の賃借料補助の件数が減少していることから、産学官連携のネットワークを強化し、中小企業・小規模企業に対する事業高度化や共同研究等の支援、ベンチャー企業の育成と市内への定着に注力していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	産学官連携による共同研究やインキュベーション施設を活用した企業の育成と市内定着、女性・若者起業家の発掘などに取り組んでいるが、それらの事業を定着させるために、大学等の研究機関との連携強化に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00713　産学官ネットワーク事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)地域ビジネス支援室訪問・来訪相談回数（新）	回	0.00 0.00	0.00 0.00	580.00 0.00	580.00 0.00	580.00 0.00	580.00 0.00	580.00 0.00
	指標説明	地域ビジネス支援室職員による訪問相談と来訪対応の回数。旧指標のコーディネーター事業所派遣数は、外部登録コーディネーターのみの派遣数であったため、地域ビジネス支援室職員の派遣数に変更。						
(成果)女性・若者起業家経営スクール申込者数（新）	人	0.00 0.00	0.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00	20.00 0.00
	指標説明	女性・若者起業家経営スクールの申込者数。						
(活動)インキュベーション施設賃借料補助事業者数	社	14.00 6.00	14.00 5.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00	14.00 0.00
	指標説明	大津・草津地域の大学インキュベーション施設において賃料補助を受けている事業者数。						
(成果)大学との共同研究件数	件	5.00 2.00	5.00 2.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	大津・草津地域の大学と市内企業との共同研究件数（モノづくり人材育成事業費補助実績等）。						
(活動)コーディネーター事業所派遣数（旧）	回	100.00 47.00	100.00 73.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	事業所へのコーディネーター派遣数						
(成果)大学発創業事業所数（旧）	件	2.00 0.00	2.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	大学インキュベーション施設から市内への創業事業所数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0148
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　川端　啓嗣
所属　1601　産業観光部商工労働政策課　記入者　奥村　翔平
事務事業番号　00858　雇用対策事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011　経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028　就労支援と労働環境の充実				
取組の方向性	001　市内における就労の拡大				
事務事業	001　雇用対策事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 大津公共職業安定所と連携した移動労働相談の実施、合同企業説明会の開催、企業版夢づくりプロジェクト事業などの実施により、企業の雇用確保と求職者の就労を支援する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境）※有効求人倍率：大津公共職業安定所管内 景気はゆるやかに回復しているが、令和8年3月時点での有効求人倍率は1.0倍を下回っており、依然として雇用環境は厳しい状況である。 （見直しや改善等の経過） 移動労働相談は実績を踏まえ、実施場所や回数の見直しを行っている。令和7年度の合同企業説明会は就職活動を取り巻く環境の変化や求職者構成を踏まえ、中高年齢層（概ね４５歳以上）を対象とした就職フェアを実施した。企業版夢づくり事業については、前年度に引き続き市内中学生等を対象に市内企業の魅力発信を目的としたワークショップイベントや工場見学等を実施した。また、令和７年度から就職面接会をとりやめた。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	就労を希望するすべての者
目的（何のために）	求職者の生活基盤となる就労安定や将来を担う若者の就労及び市内定住、求人側である中小企業の優秀な人材の確保のため
手段（どのようなやり方で）	市内各所で移動労働相談場所の開設や必要に応じた庁内関係課との協議を実施。中小企業の魅力発信や人材確保支援に取り組むとともに関係機関との連携により合同企業説明会を実施する。
成果（どのような状態にするのか）	就職を希望する方が自立し、安定した生活を営むことができる。若者の市内企業への就職を支援するとともに市内定住を促進し、地域の活性化や地元企業の経営基盤の安定に繋げる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	16,964	17,034	23,041	19,183	19,078	14,238	14,238
事業費	9,152	9,474	15,881	12,023	11,918	7,078	7,078
国庫支出金	0	0	4,015	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	4,298	1,741	1,000	1,000	0	0	0
一般財源	4,854	7,733	10,866	11,023	11,918	7,078	7,078
人件費計	7,812	7,560	7,160	7,160	7,160	7,160	7,160
事務・技術（人）	0.54	0.45	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0148
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
事務事業番号　00858　雇用対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-25-05-05-33-00-01-00	雇用対策事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)職業相談件数	件数	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		23.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)マッチングシステム登録事業者数	事業者数	0.00	0.00	60.00	140.00	160.00	190.00	220.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)移動労働相談時の一件あたりの紹介件数	件数	0.00	0.00	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)マッチングシステム就業件数	件数	0.00	0.00	2,470.00	7,960.00	8,360.00	8,770.00	9,200.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	実施手段は時代変化とともに工夫する必要がある			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	遠方の市民のため移動労働相談の実施は有効である			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	時代変化に即した事業手法を工夫していく必要がある			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	雇用の創出につながる新たな手法を検討する必要がある			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
所属コメント（４００文字）	中小企業の多くが雇用の確保を課題とする一方、令和８年３月時点での有効求人倍率は１．０倍を下回る状況となっており、今後も企業及び就職者のニーズを掴みながら、雇用、就労の両面から支援していく必要がある。令和７年度の合同企業説明会は、就職活動を取り巻く環境の変化や求職者構成を踏まえ、中高年層（おおむね４５歳以上）を対象とし、開催した。企業版夢づくり事業は、引き続き市内地域産業の知名度向上・将来的な人材確保等を図り、現地学習の充実及び工場・体験型ワークショップ等を実施する。令和７年度からは、就職面接会の取りやめを行う一方で、令和８年度から１日単位・数時間単位の短期就労を基本とした直接雇用により、高齢者を含む多様な人材が柔軟に就労できる短期就労マッチングシステム事業を実施し、高齢者を含む多様な人材が柔軟に就労できる環境を整えていく。		

【部局評価結果】

総合評価	事業規模や内容の見直しが必要	事業の方向性	拡大
部局コメント（４００文字）	中小企業を含む企業における雇用の確保と、多様な求職者の円滑な就労支援が喫緊の課題と認識しており,短期就労マッチングシステム事業や市内の中小企業の魅力発信と将来的な人材確保を目的とした企業版夢づくり事業等の施策を展開し、時代のニーズを把握し誰もが意欲を持って活躍できる社会の実現を目指す。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00858　雇用対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)職業相談件数	件数	90.00 23.00	90.00 18.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00	90.00 0.00
	指標説明	移動労働相談における就労相談と労働相談件数の合計						
(活動)マッチングシステム登録事業者数	事業者数	0.00 0.00	0.00 0.00	60.00 0.00	140.00 0.00	160.00 0.00	190.00 0.00	220.00 0.00
	指標説明	短期就労マッチングシステムに登録した事業者数。 短期就労マッチングシステムは令和8年度に運用開始予定。						
(成果)移動労働相談時の一件あたりの紹介件数	件数	0.00 0.00	0.00 0.00	2.50 0.00	2.50 0.00	2.50 0.00	2.50 0.00	2.50 0.00
	指標説明	職業紹介件数／移動労働相談における就労相談と労働相談件数の合計						
(成果)マッチングシステム就業件数	件数	0.00 0.00	0.00 0.00	2,470.00 0.00	7,960.00 0.00	8,360.00 0.00	8,770.00 0.00	9,200.00 0.00
	指標説明	短期就労マッチングシステムの就業者数。 短期就労マッチングシステムは令和8年度に運用開始予定。						
(活動) 就職面接会参加事業所数	社	55.00 25.00	55.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	学生就職面接会への参加事業所数　※令和７年度から本面接会を取りやめたため、令和８年度から指標の見直しを実施						
(成果)職業紹介率	%	250.00 447.82	250.00 283.33	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	職業紹介件数／職業相談件数　※指標を『(成果)移動労働相談時の一件あたりの紹介件数』とし、より分かりやすい指標にしたため、これまでの%の指標の見直しをしたため。						
(成果)就職面接会等企業応募人数	人	110.00 70.00	110.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	企業と面接を行った人数　※令和７年度から本面接会を取りやめたため、令和８年度から指標の見直しを実施						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0149
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　川端　啓嗣
所属　1601　産業観光部商工労働政策課　記入者　奥村　翔平
事務事業番号　00866　労働者福祉対策事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011　経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	028　就労支援と労働環境の充実				
取組の方向性	002　ワーク・ライフ・バランスの推進				
事務事業	004　労働者福祉対策事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市補助金交付規則と要綱				
事業概要	（事業概要） 労働者の福祉対策として次の事業を実施している。 ①従業員の育児休業等の取得推進に熱心な企業の取組事例を表彰し、働きやすい職場環境の整備を促進する。 ②大津地区労働者福祉協議会へ補助金を交付し、団体の活動を支援する。 ③職場環境改善を図るためワーク・ライフ・バランスセミナーを開催する。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 平成３１年４月より働き方改革関連法が順次施行され、時間外労働や有給休暇など事業者による職場環境改善の取り組みが法制化された。令和６年に法改正が行われ、医師や自動車運転業務等に対しても残業時間の上限規制が適用された。 （見直しや改善等の経過） 事業者の職場環境改善の促進を目的として、平成２８年度から国の委託事業であるワーク・ライフ・バランスセミナーを実施している。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	勤労者及び事業主、労働団体、企業及び事業所
目的（何のために）	勤労者等の生活の安定と勤労意欲の増進を図り、ワーク・ライフ・バランスに配慮した社会環境づくりに寄与するため
手段（どのようなやり方で）	市内の事業所に対して大津市従業員の育児休業・育児休暇の取得推進に熱心な企業等表彰に係る取り組み事例の募集用ちらし等による周知。ワーク・ライフ・バランスセミナーの開催。労働団体への補助金の交付
成果（どのような 状態にするのか）	育児休業や育児休暇を取得しやすい社会環境を創出する。各団体に補助金を交付することで雇用支援や勤労者福祉の増進等が図れる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	5,511	5,089	4,703	4,770	4,770	4,770	4,770
事業費	1,747	1,629	1,643	1,710	1,710	1,710	1,710
国庫支出金	895	1,021	1,138	1,201	1,201	1,201	1,201
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	852	608	505	509	509	509	509
人件費計	3,764	3,460	3,060	3,060	3,060	3,060	3,060
事務・技術（人）	0.38	0.35	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.20	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0149
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
事務事業番号　00866　労働者福祉対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-25-05-10-52-00-01-00	労働者福祉対策事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)育児休業等の取得推進に熱心な企業の表彰された事業者数	事業者数	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)ワークライフバランスセミナーに参加した事業者	事業者数	0.00	0.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)応募事業所数	件	5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		6.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)退職金共済制度加入事業所数	所	90.00	90.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		58.00	34.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	社会環境の変化とともに啓発手段について工夫していく必要がある			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	環境の変化とともに評価内容について適宜検討していく必要がある			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	より効率的な周知啓発について適宜検討する必要がある			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	目標達成に向けてより有効的な手法を検討する必要がある			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	育児休業等の取得推進に熱心な企業の表彰数が増加するように、引き続き企業表彰とワーク・ライフ・バランスセミナーの開催により幅広く事業者の啓発に努めていく。好事例となる企業の発掘に注力し、企業表彰の応募数を増加させるとともに、企業の取り組みにつながる研修テーマの設定に努めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	育児休業等の取得推進に熱心な企業の表彰を増やすようさらなる周知啓発に努めるとともに、働きやすい職場環境づくりのため、育児休業・休暇等の取得推進に熱心な企業の模範事例等の発掘を行うとともに、事例の紹介手法についても検討し、企業へ情報提供していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00866　労働者福祉対策事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)育児休業等の取得推進に熱心な企業の表彰された事業者数	事業者数	0.00 0.00	0.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	育児休業等の取得推進に熱心な企業の表彰された事業者数						
(成果)ワークライフバランスセミナーに参加した事業者	事業者数	0.00 0.00	0.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
	指標説明	ワークライフバランスセミナーに参加した事業者						
(活動)応募事業所数	件	5.00 6.00	5.00 1.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	表彰に応募された事業所数						
(活動)退職金共済制度加入事業所数	所	90.00 58.00	90.00 34.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	退職金共済制度に加入する１９名以下の中小零細企業数　※令和８年度から、事業の実施がないため、指標の見直しを行った。						
(成果)応募事業所における育児休業取得者数	人	20.00 42.00	20.00 7.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	育児休業を取得された人の数						
(成果)退職金共済制度補助金申請率	%	100.00 55.17	100.00 35.29	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	申請事業所／対象事業所　※令和８年度から、事業の実施がないため、指標の見直しを行った。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0150
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　川端　啓嗣
所属　1601　産業観光部商工労働政策課　記入者　小野　幸太
事務事業番号　02512　商工業振興施策推進事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします			
施策	026	商工業の振興			
取組の方向性	002	中小企業・小規模企業者の活性化			
事務事業	011	商工業振興施策推進事業			
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 地域産業振興条例及び中小企業・小規模企業振興ビジョンに基づき、関係機関の参加により大津市中小企業・小規模企業等振興推進会議を開催し、中小企業及び小規模企業の支援施策の検討及び支援機関との情報共有や連携を推進する。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市内中小企業及び小規模企業は厳しい経営環境が続いており、物価高、人材の確保・育成、事業承継、資金繰りなど経営課題が山積している状況にある。 （見直しや改善等の経過） 本市中小企業の振興に関する円卓会議や関係機関、市内事業者へのヒアリングを実施し、令和４年度に大津市地域産業振興条例を制定するとともに、大津市中小企業・小規模企業振興ビジョンを策定した。 これに伴い、大津市中小企業・小規模企業等振興推進会議を開催し、政策形成に向けた討議を行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内中小企業、小規模企業、経済団体
目的(何のために)	中小企業及び小規模企業の振興及び市内経済の活性化を図るため
手段(どのようなやり方で)	事業者ヒアリングの実施や関係団体・機関及び有識者等による推進会議の開催
成果(どのような 状態にするのか)	関係団体と情報共有し連携を図ることにより、事業者への支援施策・事業を充実させる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	35,314	496,706	79,195	52,324	52,324	52,324	52,324
事業費	25,768	486,586	69,075	42,204	42,204	42,204	42,204
国庫支出金	0	455,610	35,000	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1,500	0	0	0	0
一般財源	25,768	30,976	32,575	42,204	42,204	42,204	42,204
人件費計	9,546	10,120	10,120	10,120	10,120	10,120	10,120
事務・技術（人）	1.07	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0150
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
事務事業番号　02512　商工業振興施策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-05-10-61-00-02-00	商工業振興施策推進事業費	産業観光部商工労働政策課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)大津市中小企業・小規模企業振興推進会議開催回数	回	3.00 3.00	3.00 3.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
(成果)推進会議において検討し実現した事業等の件数	事業	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	多数の関係者から意見を聴取できている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	情報共有や討議を重ねた上で、複数の施策に反映できている。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	各種調整、準備等にコストがかかっている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	条例・ビジョンに基づき事業実施し地域産業の振興に貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	「大津市地域産業振興条例」及び「大津市中小企業・小規模企業振興ビジョン」に基づき、社会情勢やニーズに即した中小企業等の振興施策を総合的にかつ計画的に推進していくため、大津市中小企業・小規模企業等振興推進会議を継続して実施するとともに、支援機関との情報共有や連携を通じて、今後も継続的に市内経済のさらなる活性化に向けた政策を展開していく必要がある。 特に、令和８年度はビジョンの中間見直しの実施を予定していることから、令和７年度までの成果等を踏まえて社会経済情勢の変化に対応したきめ細かな中小企業等の振興施策を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	大津市地域産業振興条例と大津市中小企業・小規模企業振興ビジョンに基づき、施策の効果的な実施に取り組む。また、令和８年度はビジョンの中間見直しの時期にあたることから、アンケート調査等により改めて事業者ニーズの収集・分析を行い、実態に即した中小企業・小規模企業振興施策を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1601　産業観光部商工労働政策課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02512　商工業振興施策推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)大津市中小企業・小規模企業振興推進会議開催回数	回	3.00 3.00	3.00 3.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	推進会議の年間通じての開催回数						
(成果)推進会議において検討し実現した事業等の件数	事業	2.00 2.00	2.00 2.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00	2.00 0.00
	指標説明	推進会議での協議により新規・見直し・廃止を行った事業等の件数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0151
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　柴田　知孝
所属　1604　産業観光部観光振興課　記入者　森　真哉
事務事業番号　00676　温泉維持管理事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005　インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	012　観光・MICEの推進				
取組の方向性	003　観光基盤の整備の促進				
事務事業	003　温泉維持管理事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	大津市雄琴温泉供給条例・大津市温泉保養交流施設条例				
事業概要	（事業概要） 雄琴温泉の旅館に対して安定して良質な温泉を供給するため、泉源を含めた温泉供給施設の適正な維持管理を実施する。また、市北部地域の観光拠点である温泉保養交流施設「比良とぴあ」の管理運営を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） びわ湖や世界遺産比叡山延暦寺、比良比叡の山並み等優れた観光資源に囲まれ、都市近郊の観光地としてのメリットを有している。 （見直しや改善等の経過） 雄琴温泉に関しては、令和６年度に今後の設備更新の方向性や維持管理の考え方を取りまとめたガイドラインを策定して以降、計画的に設備の維持管理を進めている。 また、比良とぴあは、揚湯ポンプの交換工事等を行った。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	雄琴温泉の施設や比良とぴあの管理運営を
目的(何のために)	大津市の主要な観光地である雄琴温泉や市北部の観光拠点である比良とぴあのＰＲと誘客増を図るため
手段(どのようなやり方で)	雄琴温泉設備については修繕や定期点検等の維持管理と、比良とぴあについては指定管理者制度を導入し
成果(どのような状態にするのか)	安定した温泉供給や指定管理者の工夫により、温泉を中心としたＰＲと来訪者数の増加を図る。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	25,860	27,817	41,101	42,087	44,707	333,681	206,989
事業費	20,400	21,417	35,061	35,687	38,307	327,281	200,589
国庫支出金	0	3,245	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	12,900	0	0	0	0
その他	12,525	12,457	13,275	13,275	13,275	13,275	13,275
一般財源	7,875	5,715	8,886	22,412	25,032	314,006	187,314
人件費計	5,460	6,400	6,040	6,400	6,400	6,400	6,400
事務・技術（人）	0.70	0.80	0.70	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0151
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
事務事業番号　00676　温泉維持管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-23-00-07-00	温泉維持管理事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)雄琴温泉供給日数	日	366.00	365.00	365.00	366.00	365.00	365.00	365.00
		366.00	365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)比良とぴあ開館日数	日	361.00	360.00	360.00	360.00	360.00	360.00	360.00
		361.00	360.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)比良とぴあ利用者数	人	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00	113,300.00
		112,867.00	114,336.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)雄琴地区観光入り込み数	人	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00	922,400.00
		726,355.00	709,750.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	B
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	突発的な事象に対応しうるための維持管理体制の見直しが必要			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	雄琴地区は目標未達であるが比良とびあは前年比増で目標達成			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	策定したガイドラインに基づき適正な維持管理を行っていく			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	一定数の入込客数を確保し、観光消費や税収面にも貢献している			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	雄琴温泉については、泉源、配管等の老朽化が進む中、令和６年度に今後の設備更新計画等をまとめたガイドラインを策定し、令和７年度以降、策定したガイドラインに基づき、適正な維持管理を行いながら、将来的な供給に関する見通しが持てるよう年次的に取り組んでいく。比良とぴあについては、良質なサービスが提供できるよう、適切な施設管理と指定管理者のノウハウを生かした施設運営を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	策定したガイドラインを基に、温泉設備の適正な管理を行いながら、引き続き安定供給に向けた検討を進める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00676　温泉維持管理事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)雄琴温泉供給日数	日	366.00 366.00	365.00 365.00	365.00 0.00	366.00 0.00	365.00 0.00	365.00 0.00	365.00 0.00
	指標説明	年間温泉供給日数						
(活動)比良とぴあ開館日数	日	361.00 361.00	360.00 360.00	360.00 0.00	360.00 0.00	360.00 0.00	360.00 0.00	360.00 0.00
	指標説明	年間開館日数						
(成果)比良とぴあ利用者数	人	113,300.00 112,867.00	113,300.00 114,336.00	113,300.00 0.00	113,300.00 0.00	113,300.00 0.00	113,300.00 0.00	113,300.00 0.00
	指標説明	年間利用者数						
(成果)雄琴地区観光入り込み数	人	922,400.00 726,355.00	922,400.00 709,750.00	922,400.00 0.00	922,400.00 0.00	922,400.00 0.00	922,400.00 0.00	922,400.00 0.00
	指標説明	年間入り込み数（暦年）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0152
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　柴田　知孝
所属　1604　産業観光部観光振興課　記入者　森　真哉
事務事業番号　00683　観光案内所管理運営事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005　インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	012　観光・MICEの推進				
取組の方向性	001　「大津ならではの魅力」発信と観光誘客				
事務事業	006　観光案内所管理運営事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 大津市観光の玄関口であるＪＲ大津駅、堅田駅前、京阪石山駅と、主要な観光地の志賀、坂本及び石山寺に観光案内所を開設、さらには市内外のイベント等において臨時のサテライト観光案内所を設置し、観光客に対するきめ細やかな情報提供、パンフレット類の配布及びイベントのＰＲ等を行う。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 旅行の形態が、固定的である団体に替わり、個人や少人数による観光が増えたことで、旅行途上での情報収集への対応が重要になってきており、観光施設に関する情報提供等受入環境整備の機能向上が求められている。 （見直しや改善等の経過） 令和７年度に、大津駅観光案内所の目指すべき方向性を改定し、地域の観光情報を的確に集約発信し、利用者の満足度の高い観光案内所を目指すこととした。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	観光案内所を
目的(何のために)	来訪者が求める観光情報を提供するために
手段(どのようなやり方で)	観光施設に設置するとともに、観光案内所や観光資源の場所を分かりやすく誘導する表示を行ったり、来訪者のニーズに応えられる情報や地元でしか入手できない情報を収集し、伝えることで
成果(どのような状態にするのか)	大津の魅力を伝え、大津ファンを増やし、来訪者の増加に貢献する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	38,877	40,361	41,937	42,879	42,879	42,879	42,879
事業費	35,757	36,361	38,737	38,879	38,879	38,879	38,879
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,379	3,980	4,469	4,413	4,413	4,413	4,413
一般財源	32,378	32,381	34,268	34,466	34,466	34,466	34,466
人件費計	3,120	4,000	3,200	4,000	4,000	4,000	4,000
事務・技術（人）	0.40	0.50	0.40	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0152
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
事務事業番号　00683　観光案内所管理運営事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-70-00-01-00	観光案内所管理運営事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)年間営業日数	日	360.00	359.00	359.00	360.00	359.00	359.00	359.00
		360.00	359.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)観光案内所利用人数	人	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00	194,900.00
		174,801.00	167,830.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)総宿泊客数	千人	0.00	1,228.00	1,272.00	1,317.00	1,364.00	1,378.00	1,378.00
		0.00	1,140.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)観光入込客数	千人	12,874.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		11,294.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	施設や業種を問わず情報を発信し来訪者の利便性が向上している			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	目標値は未達であるが、利用者数は横ばいで推移している			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	R7に事業手法の見直しを実施し効率化を図った			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	物販販売により観光消費額の増加につながっている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	国内外からの来訪者の利便性と満足度の向上に資するよう、来訪者のニーズに合致した、有益な着地型の観光情報提供が受託者において図られるよう、引き続き取り組んでいく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	周辺事業者等との連携のもと効果的な事業展開を図るとともに、国内外からの来訪者の満足度を高める情報を提供する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00683　観光案内所管理運営事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)年間営業日数	日	360.00 360.00	359.00 359.00	359.00 0.00	360.00 0.00	359.00 0.00	359.00 0.00	359.00 0.00
	指標説明	年間営業日数						
(成果)観光案内所利用人数	人	194,900.00 174,801.00	194,900.00 167,830.00	194,900.00 0.00	194,900.00 0.00	194,900.00 0.00	194,900.00 0.00	194,900.00 0.00
	指標説明	４月～３月の観光案内所利用者数（サテライト観光案内所は含まない）						
(成果)総宿泊客数	千人	0.00 0.00	1,228.00 1,140.00	1,272.00 0.00	1,317.00 0.00	1,364.00 0.00	1,378.00 0.00	1,378.00 0.00
	指標説明	１月～１２月の総宿泊客数（大津市総合計画第三期実行計画のKPIとして設定されているため）						
(成果)観光入込客数	千人	12,874.00 11,294.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	１月～１２月の観光入込客数（大津市総合計画第三期実行計画のKPIから外れたため廃止）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0153
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　柴田　知孝
所属　1604　産業観光部観光振興課　記入者　喜田　力文
事務事業番号　01931　観光交流推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005　インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	012　観光・MICEの推進				
取組の方向性	001　「大津ならではの魅力」発信と観光誘客				
事務事業	008　観光交流推進事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 観光振興による地域活性化を実現するため、「オンリーワンを感じられる『大津ならではの魅力』の向上」等３つの基本方針を定めた「第３期大津市観光交流基本計画」に基づき、基本方針に沿った８つの施策を展開する。特に新型コロナウイルス感染症５類移行に伴う観光需要の回復に対応しつつ、小倉百人一首かるたやびわ湖疏水船延伸便等を活用し、官民一体となって市内の機運醸成や観光誘客に取り組む。また観光マーケティング調査を実施し、第４期大津市観光交流基本計画を策定した。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 本市の観光入込客数は、新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い、コロナ前の水準へと回復の傾向にある。また２０２５年大阪関西万博が開催され、宿泊施設からは、京阪神からの宿泊客が減少しているとの声が上がった。 （見直しや改善等の経過） 特にコロナ後の全国の観光地において、量から質への転換がなされており、それらを踏まえながら、第４期大津市観光交流基本計画を策定し、今後４年間の方針を決定した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内各地域の観光協会や観光関連事業者など。市内に点在する観光資源等を活用する。
目的(何のために)	観光交流の推進や観光客（来訪者）の増加による滞在時間の延伸と観光消費額の増加を図るため。
手段(どのようなやり方で)	国や県の動向や社会情勢の把握、地域住民や観光関連事業者との関係性構築など、様々な情報取得及び合意形成を図りながら事業推進を行う。
成果(どのような状態にするのか)	本市の認知度向上とともに、観光入込客数が増加し、市内周遊が促進され、観光消費額が増加する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	274,491	91,285	87,422	110,217	110,217	110,217	110,217
事業費	213,891	55,765	52,342	74,697	74,697	74,697	74,697
国庫支出金	53,995	18,462	20,517	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	5,651	582	0	0	0	0	0
一般財源	154,245	36,721	31,825	74,697	74,697	74,697	74,697
人件費計	60,600	35,520	35,080	35,520	35,520	35,520	35,520
事務・技術（人）	7.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.50	0.80	0.70	0.80	0.80	0.80	0.80
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0153
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
事務事業番号　01931　観光交流推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-64-00-04-00	観光交流推進事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)負担金額	千円	219,111.00	1,760.00	1,760.00	1,760.00	1,760.00	1,760.00	1,760.00
		197,860.00	6,792.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)負担金及び補助金の件数	件	5.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
		5.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)総宿泊客数	千人	0.00	1,228.00	1,272.00	1,317.00	1,364.00	1,378.00	1,378.00
		0.00	1,140.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)観光入込客数	千人	12,874.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		11,294.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	特に調査及び計画策定は行政の役割として妥当			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	宿泊客数は届かなかったものの観光消費額は増加したため			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	B
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	情報発信やプロモーションを効率的に展開したため			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	B
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	大津ならではの魅力発信と観光誘客に貢献しているため			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	コロナ後の回復を含め、観光産業を取り巻く環境が大きく変化する中において、有意義な観光マーケティング調査を行い、観光事業者と結果を共有した上で、次期総合計画を見据えた第４期大津市観光交流基本計画を策定することが出来た。また船舶を活用した補助金や小倉百人一首かるた関連事業など、官民連携でコンテンツの高付加価値化や本市の認知度向上に取り組んだ。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	観光ニーズを捉えた効果的な事業展開を図るとともに、国や県の財源を活用した施策の実施や観光事業者との連携に努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　01931　観光交流推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)負担金額	千円	219,111.00 197,860.00	1,760.00 6,792.00	1,760.00 0.00	1,760.00 0.00	1,760.00 0.00	1,760.00 0.00	1,760.00 0.00
	指標説明	会費、負担金、補助金総額						
(活動)負担金及び補助金の件数	件	5.00 5.00	3.00 5.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00	3.00 0.00
	指標説明	負担金、補助金の件数						
(成果)総宿泊客数	千人	0.00 0.00	1,228.00 1,140.00	1,272.00 0.00	1,317.00 0.00	1,364.00 0.00	1,378.00 0.00	1,378.00 0.00
	指標説明	１月～１２月の総宿泊客数（大津市総合計画第三期実行計画のKPIとして設定されているため）						
(成果)観光入込客数	千人	12,874.00 11,294.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	１月～１２月の観光入込客数（大津市総合計画第三期実行計画のKPIから外れたため廃止）						

IP27P050

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0154
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　菅沼　匡人
所属　1604　産業観光部観光振興課　記入者　濱田　あゆみ
事務事業番号　02615　インバウンド国際観光推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005　インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	012　観光・MICEの推進				
取組の方向性	001　「大津ならではの魅力」発信と観光誘客				
事務事業	001　インバウンド国際観光推進事業				
運営方法	民間委託				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） 外国からの来訪者に対し、情報発信及び受入体制の整備を図り、来訪者の増加及び滞在時間の延長から観光消費額の増額を通して、地域の活性化を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 飛躍的に高まっているインバウンド需要を取り込めるよう、本市への誘客を促進する取組を継続して実施していく必要がある。 （見直しや改善等の経過） 令和３年度より台湾市場へのプロモーションを再開しており、令和６年度からは香港市場をターゲットに追加している。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	外国からの来訪者
目的(何のために)	来訪者数の増加及び滞在時間の延長のため
手段(どのようなやり方で)	情報発信や受入体制の整備により
成果(どのような状態にするのか)	観光消費額が増加し、地域の活性化につながる。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	18,778	31,132	21,252	34,328	27,480	27,480	27,480
事業費	10,978	20,732	10,852	23,928	17,080	17,080	17,080
国庫支出金	4,733	10,045	4,950	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	6,245	10,687	5,902	23,928	17,080	17,080	17,080
人件費計	7,800	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400	10,400
事務・技術（人）	1.00	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0154
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
事務事業番号　02615　インバウンド国際観光推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-64-00-12-00	インバウンド国際観光推進事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)市政府、団体、旅行会社等訪問数	社	34.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		56.00	58.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)外国人宿泊者数	千人	162.00	197.00	210.00	210.00	210.00	210.00	210.00
		152.00	151.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	関連事業者等と連携して事業が展開できた。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	中国、香港の情勢により全体の成果が引き下げられる結果となった			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	商談会やセールスの実施等により魅力を発信できた。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	目標達成には至らなかったが、国際情勢の要素を除けば伸長した。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	令和７年度大津市来訪者満足度調査によると、リピーターは増加傾向にあるものの、初回訪問者の比率が低下しており、新規顧客の獲得において課題がある。新規性を強調するため、昨年度造成した３つの富裕層向けコンテンツのプロモーションに注力し、観光客数を伸長するとともに消費単価の増加につながる活動を実施する。また、引き続いて効果的かつ効率的なプロモーションの手法等について、市内事業者の意見を踏まえながら検討していくとともに、受入体制整備を強化しながら、本市へのさらなる誘客促進を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	インバウンド推進における動向やニーズを把握しながら、ターゲット市場に対する効果的な情報発信等の観光プロモーションに努める。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02615　インバウンド国際観光推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)市政府、団体、旅行会社等訪問数	社	34.00 56.00	50.00 58.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	市政府、団体、旅行会社などの現地セールス及びＦＡＭツアーの実施						
(成果)外国人宿泊者数	千人	162.00 152.00	197.00 151.30	210.00 0.00	210.00 0.00	210.00 0.00	210.00 0.00	210.00 0.00
	指標説明	市内宿泊施設への外国人宿泊者（滋賀県観光客入込状況調査）						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0155
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　菅沼　匡人
所属　1604　産業観光部観光振興課　記入者　林田　卓馬
事務事業番号　04045　ＭＩＣＥ推進事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	002　自然、歴史、文化、スポーツを重視し、多くの人が集うまちを創り				
基本政策	005　インバウンド観光で人が集い、にぎわうまちにします				
施策	012　観光・MICEの推進				
取組の方向性	002　MICEの誘致				
事務事業	013　ＭＩＣＥ推進事業				
運営方法	直営				
評価区分	対象	主な取組区分	対象		
根拠法令等					
事業概要	（事業概要） ＭＩＣＥ推進は地域への経済効果が高く、ビジネス・イノベーション機会の創造、開催都市の国際的認知度やブランド力向上が期待できる。本市の強みである、京都・大阪からのアクセスの良さ、豊かな自然と歴史文化、湖岸エリア一帯の多種多様な施設を最大限に活用し、ＭＩＣＥ推進に取り組むことで、地域の経済活性や魅力の向上を図る。				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） ＭＩＣＥ需要を取り込むため、本市の魅力や強みを国内外に発信し、ＭＩＣＥ誘致を推進していく必要がある。 （見直しや改善等の経過） コンベンション開催事業にかかる補助やノベルティ提供等の各種支援策を実施するとともに、医学系や理工系の大学等を中心とした誘致活動を行った。また、本市の魅力をＭＩＣＥの主催者や関係者等へ効果的かつ広範囲に情報発信ができるよう、令和６年度にＭＩＣＥ専用ウェブサイトを開設し、令和７年度にＭＩＣＥ専用パンフレットを作成した。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	ＭＩＣＥ関係者
目的(何のために)	ＭＩＣＥ開催件数の増加及び参加者の満足度向上のため
手段(どのようなやり方で)	誘致活動、情報発信及び受入体制の整備により
成果(どのような 状態にするのか)	ＭＩＣＥ関連消費額が増加し、経済波及効果が高まることにより地域の活性化につながる

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	40,677	24,286	31,106	28,006	28,006	28,006	28,006
事業費	27,417	10,686	17,506	14,406	14,406	14,406	14,406
国庫支出金	5,797	4,185	5,000	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	50	50	50	50	50
一般財源	21,620	6,501	12,456	14,356	14,356	14,356	14,356
人件費計	13,260	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600	13,600
事務・技術（人）	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70	1.70
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0155
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
事務事業番号　04045　ＭＩＣＥ推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-35-10-05-64-00-16-00	ＭＩＣＥ推進事業費	産業観光部観光振興課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)医療機関、大学、企業等訪問件数	件	30.00 44.00	40.00 72.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
(成果)新規ＭＩＣＥ誘致件数	件	4.00 4.00	5.00 11.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点	基準		評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	市が直営でＭＩＣＥ誘致をしている効果が表れている。			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	A
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	目標数を満たすＭＩＣＥ案件を誘致できた。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	誘致活動による成果が出ている。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	ＭＩＣＥ推進により地域の活性化や魅力向上が図れている。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	補助金等のコンベンション開催における支援メニューの整備や、市内外の大学訪問や商談会等の誘致活動において、本市の魅力や強みをＰＲしてきたことが、新規案件の獲得につながっている。また、新たに開設したＭＩＣＥ専用ウェブサイト及びＭＩＣＥ専用パンフレットにより、国内外に向けた情報発信を強化したことで、問い合わせ件数の増加につながった。 今後もびわこビジターズビューローや市内ＭＩＣＥ関連事業者等との連携を継続し、ＭＩＣＥ誘致につながる効果的な取組を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	MICE戦略に則り、関連事業者と密に連携を図りながら、効率的かつ効果的な誘致活動を推進する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1604　産業観光部観光振興課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　04045　ＭＩＣＥ推進事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)医療機関、大学、企業等訪問件数	件	30.00 44.00	40.00 72.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00	40.00 0.00
	指標説明	医療機関、大学、企業等へのセールス実施						
(成果)新規ＭＩＣＥ誘致件数	件	4.00 4.00	5.00 11.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00	5.00 0.00
	指標説明	ＭＩＣＥ誘致件数						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0156
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　木津　嘉弘
所属　1605　産業観光部農林水産課　記入者　榎本　信
事務事業番号　02371　鳥獣害対策強化事業

【基本情報】

総合計画	04	大津市総合計画　第3期実行計画			
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります			
基本政策	011	経済が活性化し、元気なまちにします			
施策	027	農林水産業の振興			
取組の方向性	001	農林水産業の振興			
事務事業	020	鳥獣害対策強化事業			
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律				
事業概要	（事業概要） ①職員による被害調査、パトロール等予防・警戒活動及び追い払い等緊急活動、自己防衛対策の啓発及び支援 ②市民からの捕獲要請に応じた直営による有害鳥獣駆除活動（サル、シカ、イノシシ、カラス、ドバト） ③猟友会による有害鳥獣駆除活動（業務委託） ④特別措置法による有害鳥獣被害の軽減				
事業を取りまく社会 環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 生活環境の変化により、サル、シカ、イノシシの被害は農作物だけでなく市民生活に対しても出ている。また、アライグマ、ハクビシンなどの外来獣による被害も近年、発生している。 （見直しや改善等の経過） 関係機関との連携と防護柵等の防除事業の拡大を図るため、平成２０年度から大津市有害鳥獣被害対策協議会を立ち上げ、また隣接市と連携を図るため、平成２３年度から滋賀県西部南部地域被害対策協議会を立ち上げた。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	猿、鹿、猪、外来獣（アライグマ、ハクビシン）等の有害鳥獣
目的(何のために)	農林水産業の振興及び市民生活の安全性向上
手段(どのようなやり方で)	猟友会と連携し檻や銃器による捕獲・駆除を推進
成果(どのような 状態にするのか)	農作物被害及び生活環境被害の防止・軽減を図る

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	31,274	33,396	40,231	40,231	40,231	40,231	40,231
事業費	20,594	21,996	30,151	30,151	30,151	30,151	30,151
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	11,430	11,745	16,325	16,325	16,325	16,325	16,325
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,164	10,251	13,826	13,826	13,826	13,826	13,826
人件費計	10,680	11,400	10,080	10,080	10,080	10,080	10,080
事務・技術（人）	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60	0.60
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	1.50	1.50	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0156
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1605　産業観光部農林水産課
事務事業番号　02371　鳥獣害対策強化事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-30-10-05-65-00-03-00	鳥獣害対策強化事業費	産業観光部農林水産課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）有害鳥獣駆除従事者数	人	110.00 112.00	110.00 115.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00
（成果）ニホンジカ	頭	1,500.00 1,157.00	1,500.00 1,087.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00
（成果）イノシシ	頭	500.00 447.00	500.00 241.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	有害鳥獣駆除の取組には、鳥獣に精通した猟友会との連携が不可欠			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	農作物及び生活環境被害の低減に貢献している。			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	銃器捕獲については資格を有する猟友会でなければ実施できない。			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	有害鳥獣駆除により鳥獣被害の軽減に貢献している。			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント（４００文字）	有害鳥獣駆除を市内猟友会に引き続き委託することで、生息頭数を減少させることができ、被害の軽減となるため、捕獲事業は継続して実施していくことが不可欠である。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント（４００文字）	鳥獣の個体数調整は不可欠であることから、県に対し引き続き鳥獣害対策への支援を求めるとともに、着実な防除対策を推進する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1605　産業観光部農林水産課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　02371　鳥獣害対策強化事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
（活動）有害鳥獣駆除従事者数	人	110.00 112.00	110.00 115.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00	110.00 0.00
	指標説明	鳥獣被害に伴い駆除を行う猟友会有害駆除従事者数に目標値変更。有害駆除許可数からより明確でわかりやすい指標として従事者数に目標変更した。						
（成果）ニホンジカ	頭	1,500.00 1,157.00	1,500.00 1,087.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00	1,500.00 0.00
	指標説明	ニホンジカの捕獲数。						
（成果）イノシシ	頭	500.00 447.00	500.00 241.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00	500.00 0.00
	指標説明	イノシシの捕獲数。						

事務事業評価シート（１／２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0157
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了　所属長名　吉川　学
所属　1609　産業観光部公設地方卸売市場管理課　記入者　岡元　輝望
事務事業番号　00717　集荷奨励特別資金貸付事業

【基本情報】

総合計画	04　大津市総合計画　第3期実行計画				
基本方針	003　安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	011　経済が活性化し、元気なまちにします				
施策	027　農林水産業の振興				
取組の方向性	001　農林水産業の振興				
事務事業	055　集荷奨励特別資金貸付事業				
運営方法	その他				
評価区分	対象	主な取組区分	対象外		
根拠法令等	集荷奨励特別資金貸付要綱				
事業概要	（事業概要） 卸売業者に対し経営資金を貸し付け、安定した集荷の確保と品揃えの充実を図る。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 近年の流通構造の変化に伴う市場経由率の低下や小売形態の変化により、市場外流通が増加しつつある。 （見直しや改善等の経過） 平成２４年度に、より一層の安定集荷の確保を目的に貸付金額を１５，０００千円増額し、５０，０００千円とした。 令和２年度から成果目標の指標を見直した。				

【事業分析】

対象（何又は誰を）	青果部卸売業者に
目的（何のために）	卸売業者の集荷に必要な資金力を強化するため
手段（どのようなやり方で）	集荷奨励特別資金の無利子による貸し付けを行い
成果（どのような状態にするのか）	安定した集荷の確保と品揃えの充実を図ることで、市場業務の円滑化と市民生活の向上に寄与する。

【コスト】　（単位：千円）

	令和 6年度 決算額	令和 7年度 決算額	令和 8年度 予算額	令和 9年度 計画額	令和10年度 計画額	令和11年度 計画額	令和12年度 計画額
トータルコスト	50,312	50,320	50,320	50,320	50,320	50,320	50,320
事業費	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000
人件費計	312	320	320	320	320	320	320
事務・技術（人）	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04
技能労務（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時（人）	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（２/２）

令和 8年 9月18日

整理番号　0157
評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1609　産業観光部公設地方卸売市場管理課
事務事業番号　00717　集荷奨励特別資金貸付事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
24-05-05-10-21-00-01-00	集荷奨励特別貸付金	産業観光部公設地方卸売市場管理課

【定量評価】　上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)集荷奨励特別資金貸付金額	千円	50,000.00 50,000.00	50,000.00 50,000.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00
(成果)青果物市場取扱高数量	t	32,600.00 27,684.00	33,500.00 27,177.00	34,500.00 0.00	35,500.00 0.00	36,500.00 0.00	37,500.00 0.00	37,500.00 0.00

【定性評価】

	評価項目	評価の観点		基準	評価
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	A
			B	ほぼ妥当である	
			C	あまり妥当ではない	
			D	妥当ではない	
	評価理由	青果卸売業者の集荷が市場全体の取扱高の大半を担っている			
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	B
			B	やや上がっている	
			C	あまり上がっていない	
			D	上がっていない	
	評価理由	青果卸売業者の安定した集荷の確保と品揃えの充実に繋がっている			
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	A
			B	やや効率的である	
			C	あまり効率的でない	
			D	効率的でない	
	評価理由	集荷資金として効率的に活用されている			
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	A
			B	やや貢献している	
			C	あまり貢献していない	
			D	貢献していない	
	評価理由	当該事業の活用により、青果物の安定した集荷が図られている			
	評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント （４００文字）	当該事業は、卸売業者が行う集荷の経営資金として有効に活用されている。生産コストの増加による作付面積の減少や悪天候の影響による収穫量の減少等により流通量が減少する中、令和７年度も安定した集荷を実現することができた。今後も安定した集荷の確保と豊富な品揃えを維持するために、当該事業は必要不可欠であり、引き続き現状のまま事業を継続する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント （４００文字）	本事業は、青果卸売業者の安定集荷と豊富な品揃えの促進に有効である。今後も市場の集荷機能を発揮していくため、当面継続して実施していく必要があると判断する。		

事務事業評価指標一覧

令和 8年 9月18日

評価年度　令和 7年度　進捗区分　評価完了
所属　1609　産業観光部公設地方卸売市場管理課
総合計画　04　大津市総合計画　第3期実行計画
事務事業番号　00717　集荷奨励特別資金貸付事業

上段：目標値　下段：実績値

指標名	単位	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
(活動)集荷奨励特別資金貸付金額	千円	50,000.00 50,000.00	50,000.00 50,000.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00	50,000.00 0.00
	指標説明	青果卸売業者に対する貸付金						
(成果)青果物市場取扱高数量	t	32,600.00 27,684.00	33,500.00 27,177.00	34,500.00 0.00	35,500.00 0.00	36,500.00 0.00	37,500.00 0.00	37,500.00 0.00
	指標説明	令和４年度以降の目標値は、青果卸売業者の令和３年度取扱高実績を基準に伸び率３%として設定したもの						